

令和 6 年 8 月 19 日

## 令和 5 年度 特別の教育課程の実施状況等について

学 校 名	管理機関名	設置者の別
私立サレジオン国際学園世田谷中学校	学校法人星美学園	私立

## 1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
私立サレジオン国際学園 世田谷中学校	<a href="https://salesian-setagaya.ed.jp/whats-new/20240708141987/">https://salesian-setagaya.ed.jp/whats-new/20240708141987/</a>

※必要に応じて行を追加すること。

## 2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
私立サレジオン国際 学園世田谷中学校	<a href="https://salesian-setagaya.ed.jp/whats-new/20240708141987/">https://salesian-setagaya.ed.jp/whats-new/20240708141987/</a>	左に同じ

※必要に応じて行を追加すること。

## 3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

## (1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ・ **計画通り実施できている**
- ・ 一部、計画通り実施できていない
- ・ ほとんど計画通り実施できていない

## (2) 実施状況に関する特記事項

※ (1) で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

## (3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ・ **実施している**
- ・ 実施していない

## <特記事項>

### 3. 実施の効果及び課題

#### (1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

グローバルに活躍できる生徒の育成を目指し、英語で論理的、批判的、創造的な思考を深め、発信する力を育て、将来的に国際社会で活躍できる能力を育成するため、対象科目の授業をインターナショナルティチャー（ネイティブの英語講師）からオールイングリッシュによる探究学習の授業”Salesian Academic Program”を受けており、文化学・環境問題・社会問題について多角的な視点に基づいて分析するスキルを基礎から養っている。

#### (2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

学習指導要領をベースに外国の教科書なども使用し、ローカルとグローバル両方の視野を持てるように指導している。すべての教科でPBL型授業を展開し、ロジカル・クリティカル・クリエイティブな思考力を深め磨く工夫を構築している。主要教科を英語で行うことで、英語力の伸長だけでなく、グローバルな思考を養い将来的にはグローバルに活躍する人を育てることを目指している。

### 4. 課題の改善のための取組の方向性

日本人教員と外国人教員の連携をスムーズにとれるように外国人教諭による英会話レッスンを実施し、コミュニケーションをはかる。また、生徒それぞれのバックグラウンドに配慮しながらHR運営をおこなう。学校HPや配布のパンフレット、学校説明会などにおいて本校の実践しているイマージョン教育を説明しており、シラバスなどを状況に応じて変更する場合は学校のHPで公開する。

令和 6 年 8 月 19 日

令和 5 年度 特別の教育課程の実施状況等について

学 校 名	管理機関名	設置者の別
私立サレジアン国際学園中学校	学校法人星美学園	私立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の公表 URL
私立サレジアン国際学園中学校	<a href="https://www.salesian.international.seibi.ac.jp/blog/blog-info/6546/">https://www.salesian.international.seibi.ac.jp/blog/blog-info/6546/</a>

※必要に応じて行を追加すること。

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
私立サレジアン国際学園中学校	<a href="https://www.salesian.international.seibi.ac.jp/blog/blog-info/6546/">https://www.salesian.international.seibi.ac.jp/blog/blog-info/6546/</a>	左に同じ

※必要に応じて行を追加すること。

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- ・ 一部、計画通り実施できていない
- ・ ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- ・ 実施していない

<特記事項>

### 3. 実施の効果及び課題

#### (1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

多様性を重視し様々な履歴を持った生徒たちを受け入れ、彼らの能力や適性を更に伸ばす教育環境を提供している。多くの帰国生、外国籍生徒、二重国籍生徒などが在籍し数学・理科・社会の3教科を英語でのイマージョン教育を行うことで総合的な英語力の進捗を図り、共に協力して、学び合う多様な教育を実践している。イマージョン教育を行うことにより、日本的な考え方にも触れることができ、相互に良い影響を与えている。

#### (2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

学習指導要領に定める内容に基づいて作成した教育課程を基に、13名の外国人教員が、日本人教員と同様にHRクラス担任や授業教科指導などお互いに連携をしながら生徒指導・保護者会・授業カリキュラム・指導案・試験などの作成を行っている。PBLを中心として授業カリキュラム・指導案・試験を作成している。授業を始める前にトリガークエッション（問い）を与え、学習の関心度を高めて自ら学ぶ姿勢を重視している。授業は、創造的思考の問いを生徒に与え、各自が持つ知識から個人とグループでの討論とプレゼンテーションから授業を開始し、生徒の学習への関心度を高める工夫をしている。

### 4. 課題の改善のための取組の方向性

シラバスなどを、教育の進度や生徒の状況によって変更及び改善する。また、2025年度より高校 International Course Advanced において西オーストラリア州の教育プログラム（WACE: West Australia Certificate of Education）の導入を予定している。そのため、中学校のカリキュラムと使用教材を見直し、その準備を開始している。WACEの導入により本校の科目とWACEの科目の両方を履修することにより日本とオーストラリアの二か国の卒業取得が可能となるDDP(Dual Diploma Program)を実施する予定である。